

KIS 国際物流ニュース！ (2021年2月号)

国際物流業務に役立つ 最新情報をお届け！

国際事情、行政、システム、導入事例、多彩な情報からピックアップ



英自動車産業 2021年大嵐の真ただ中 EUの自動車産業のサプライチェーン再編

イギリスの2020年の自動車生産台数は92万台と1984年以来の低水準となった。その要因はEU離脱と新型コロナウイルス感染拡大であることが容易に想像できます。英国自動車工業会発表の生産台数によると、実際の数字としてもEU離脱を採択した2016年には約1,500万台を生産していましたが、以降毎年急激に生産減少していることがわかります。イギリスの自動車生産の約半分は日本車が占め、その部品調達にはEUからのサプライチェーンで成り立っており、今後の不透明感から英国内での生産を縮小するメーカーが増えています。最終的に免れましたが（英国とEUがFTAを締結できなければ、2021年1月からの関税上乘せとなることでした）、英国内で生産した自動車の輸出には10%の関税上乘せとなり価格競争力で大に劣ることになる想定でした。FTAは締結することができましたが通関手続きは発生し物流に支障をきたすことになっています。ホンダは2021年7月で英国生産から撤退を予定しています。トヨタは独BMWと最適なサプライチェーンを検討中ということで、これは英国生産の維持を意味するものではないと考えられます。英政府はEV（電気自動車）に活路を見出すとしています。

ヨーロッパのEV車はどのような状況でしょうか。先日、ヨーロッパでは自動車メーカーの大きな再編がありました。フィアット・クライスラー・オートモビルズ（Fiat Chrysler Automobiles）とPSAグループ（PSA Group）が1月16日、両社の統合によって新会社の「ステランティス」が設立されました。そのステランティスのタバレスCEO（カルロス・ゴーンの前副社長を務め、2018年から業績不振のPSAの社長に就任しPSAを立て直し、今回の統合をまとめた人物です。）は「内燃機関への投資はしない。EVは市場規模が大きいところに投資する」と発言しており、英政府の思惑は容易でないように思われます。ドイツのフォルクスワーゲンも、ドイツの工場や米国でEVの車体製造や電池の取り付けのための大規模な投資を行いました。2020年秋にファナックにEV生産向けのロボットを約1400台発注したとのこと。世界的な排ガス規制などでEV生産への積極投資は今後増えるのは確実です。自動車のEV化ではガソリン車よりも生産工程の自動化率が高まり、産業用ロボットを使う需要が増えると予想されています。イギリスの自動車生産がうまくEVへシフトし生産台が増加したとしても、雇用拡大あるいは雇用維持への貢献は限定的かもしれません。ポルシェは「タイカン」というポルシェ初の電気自動車を発売開始しました。その電池はRimac Automobili社というクロアチアの企業が開発した高電圧バッテリーを採用しています。航続距離は450kmと言われ、高出力でこれだけの航続距離を抵抗できる企業は少ないそうです（ちなみにポルシェタイカンターボSは2,500万円とか）。テスラのばあいはパナソニックから電池の供給を受けていますが、テスラが自社生産の準備も進めています。EVについてはどの国のどのメーカーが、どの素材供給や部品を使って覇権を取るか予測は難しい状況です。

歴史の長いイギリスの自動車業界は、今、EU離脱、新型コロナウイルス、EVシフトという嵐の真ただ中という状況です。

KIS 国際物流ニュース！ (2021年2月号)

安心のテレワークソリューション 情報漏えい対策、認証サービス、クラウドバックアップ

テレワークを実施している企業にとっても、検討中の企業にとっても「セキュリティ（情報漏えい）」「バックアップ」の対策は重要な課題です。使いやすさと安全を両立した最新ソリューションをウェブセミナーでご紹介します。ITセキュリティ製品やリモートワークソリューションのトップベンダー、ソリトンシステムズ様と共催です。ぜひご視聴ください。

配信日 2021年2月9日（火） 13:30-14:30

内容 リモートアクセスソリューション

クラウド認証ソリューション

KISクラウドバックアップサービス

商品情報と関連画像・関連書類の一元管理でさらなる業務効率化へ

お客様の商品情報や書類など必要な情報を担当者ごとに管理していませんか？

「情報が共有されていない」「情報の検索に時間がかかっている」。そんなお悩みを解決するソリューションをご紹介します。

配信日 2021年2月19日（金） 14:00~14:30

AIを活用した書式学習型 OCR AI-OCR

お客様より入手した INVOICE などの紙資料をもとにした入力作業には多大な労力が発生します。

取引先ごとに書式が異なる INVOICE 読取の自動化の課題に対し、書式ごとに読取フォーマット作成が必要なこれまでの OCR とは異なるソリューション「AIを活用した書式学習型OCR」をご紹介します。

配信日 2021年2月24日（水） 14:00~14:30

被写体認識基盤サービス (INVOICE 読取モデル)

慢性的な人手不足の中、物流オペレーションの更なる業務効率性が求められております。

被写体として画像や文字情報を認識し、それらに付随するアクションを実行するクラウドサービスです。手作業で対応している貿易書類からのデータ入力業務を効率化するソリューションをご紹介します。

配信日 2021年2月26日（金） 10:30~11:00

輸出入業務・通関業務 Forwarder-PRO 概要説明と業務可視化

輸出入業務・通関業務を海貨・通関業務ソリューション「Forwarder-PRO」と通してご紹介します。

通関業・海貨業におけるさまざまな業務をカバーするパッケージ「Forwarder-PRO」。

特に拠点間や別フロアの作業進捗の可視化、書類を簡単に情報共有できる機能を紹介します。

概要 輸出入業務・通関業務 Forwarder-PRO の概要説明と業務の可視化

配信日 2021年2月25日（水） 13:30~13:50